

第13回JAL杯北海道ミックスダブルスカーリング選手権大会 札幌地区予選

競技方法

A 予選リーグ 30 チーム (シード1チームを除く)

6 * 8 = 全 48 試合

4 チーム * 6 ブロック 24 計 30
3 チーム * 2 ブロック 6

- 同一ブロック内の順位は、
 - ・ 勝ち点(勝3、負0、引分1)で決める。
 - ・ 勝ち点が同点の場合、直接対決で勝利しているチームを上位とする。直接対決が引分の場合、DSCの短いチームを上位とする。
 - ・ 3或は4チームの勝ち点が同点の場合、DSCの短いチームを上位とする。
 - ・ DSCが同点の場合は、個々のLSDが短いチームを上位とする。
 - ・ 個々のLSDが同点の場合、トスで勝ったチームを上位とする。

- 全体の序列 A~Fブロックの勝ち点は、G・Hブロックの勝ち点と比較できないので、
 - ・ 予選リーグ全体の順位は、各ブロック1位のDSCを比べ、DSCの短いチームを上位とする。
 - ・ DSCが同点の場合は、個々のLSDが短いチームを上位とする。
 - ・ 個々のLSDが同点の場合、トスで勝ったチームを上位とする。
 - ・ 同様にブロック2位についても、DSCの短いチームを上位、
 - ・ ブロック3位についてもDSCの短いチームを上位とする。
 注) G・Hブロックが3チームでダブルで試合をすると勝ち点が12~0、A~Fブロックは3試合で勝ち点は最大9しか獲得できない。

2018全道大会に出場したチームをシードする。

同一チームメンバーであることが条件

全道へ出場5	1	チームあいしゅん × 解散	1	チームは
	2	snowmate × 解散	予選リーグは免除する	
	3	かれんまる × 解散	尚、第1試合の審判(計時を含む)を担当	
	4	monaka × 解散	31 - 1 = 30 チームで予選リーグを行う。	
	5	S1 シード1 : チーム片山の福さん ○		

ブロックA~F 6 試合

チーム	1	2	3	4
1		⑥	③	①
2			②	④
3				⑤
4				

4チームの場合、DSCは最大値を除かず6個のLSDをすべて合計する。
最低投球回数: 1(時計回り+反時計回りを1回とする)

ブロックG・H 6 試合

チーム	1	2	3
1		③⑤	①④
2			②⑥
3			

3チームの場合、第1から第3試合までのLSDを合計、最大値は取り除かず、DSCを算定する。
最低投球回数: 2(時計回り+反時計回りを1回とする)

B 代表決定戦1リーグ : 3 チーム × 8 ブロック

全 24 試合

- 予選リーグでシードしたチームは代表決定戦1リーグへ配置する。

・ ブロック K1 : S1

- 予選リーグの全体の序列により、23チームを選抜する。

予選リーグの序列(DSC順)	予選リーグの1位	予選リーグの2位	予選リーグの3位	予選リーグの4位
NO 例	NO 例	NO 例	NO 例	NO 例
1 : A1	9 : A2	17 : A3	25 : A4	
2 : B1	10 : B2	18 : B3	26 : B4	
3 : C1	11 : C2	19 : C3	27 : C4	
4 : D1	12 : D2	20 : D3	28 : D4	
5 : E1	13 : E2	21 : E3	29 : E4	
6 : F1	14 : F2	22 : F3	30 : F4	
7 : G1	15 : G2	23 : G3		
8 : H1	16 : H2	24 : H3		

- 代表決定戦1リーグのブロックの組み合わせは、3チーム × 8ブロック

ブロックK~R 3 試合

チーム	1	2	3
1		③	①
2			②
3			

ブロックは、	1	2	3
K	S1	序列15	序列23
L	序列1	序列14	序列22
M	序列2	序列13	序列21
N	序列3	序列12	序列20
O	序列4	序列11	序列19
P	序列5	序列10	序列18
Q	序列6	序列9	序列17
R	序列7	序列8	序列16

とする。

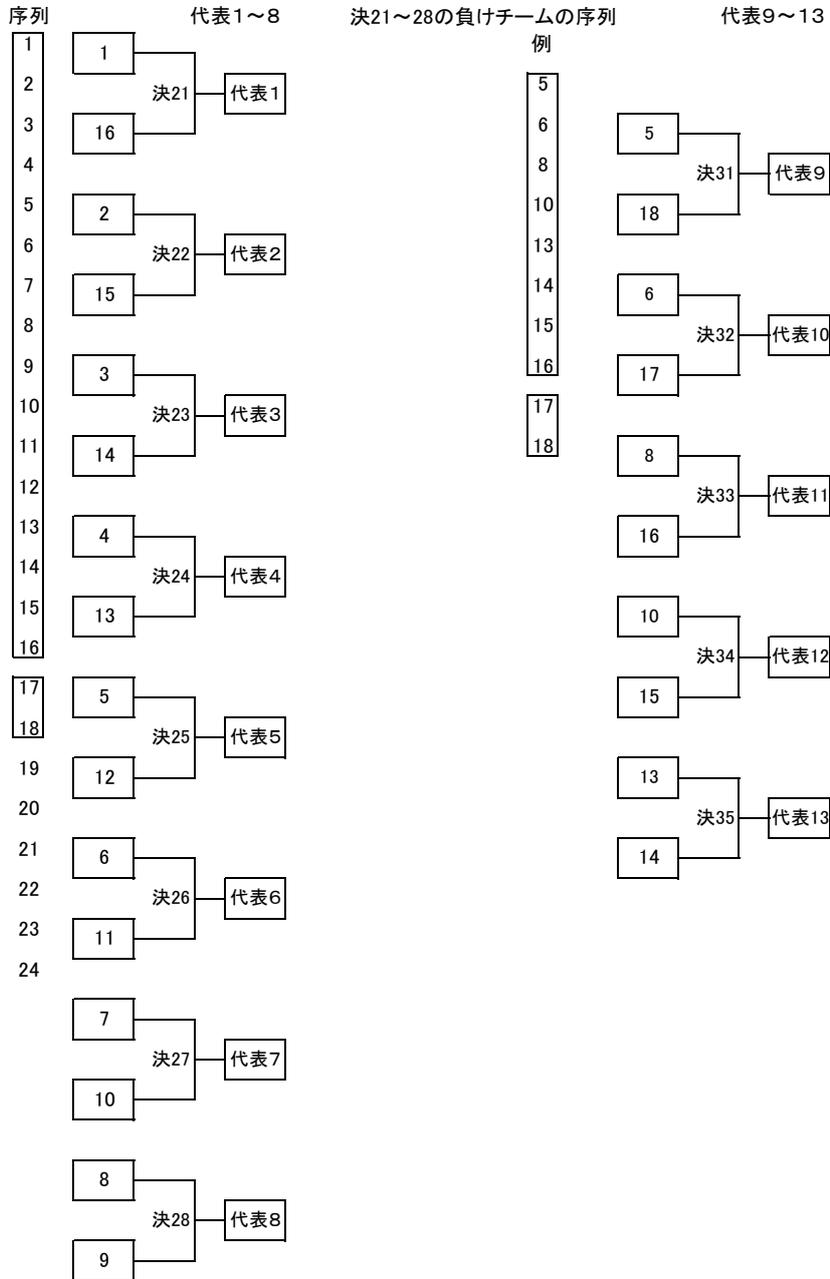
代表決定戦1リーグは、8ブロックK～Rに分け、リーグ戦を行う。

- ・ 全体の順位は、代表決定戦1リーグ3試合の勝ち点(勝3 負0 引分1)で序列を決める。
- ・ 勝ち点が高点の場合、DSCの短いチームを上位とする。
- ・ DSCが同点の場合、個々のLSDがより短いチームを上位とする。
- ・ 個々のLSDの値が同じ場合、トスで勝ったチームを上位とする。
- ・ 最低投球回数:1

C 代表決定戦2 : 16 / 10 チーム

全 13 試合

- 代表決定戦1の序列を基に配置し、トーナメント戦を行う。
- 決21～28に、序列1～16を配置し、代表1～8を選抜する。
- 決31～35には、決21～28の負けチームと序列17・18を配置し、代表9～13を選抜する。
- 最終エンドで同点の場合、エキストラエンドを行う。



D 決31～35の敗者5チームについては、代表決定戦1のDSC結果の短い順に予備代表1～5とする。